

令和元事業年度

# 決算報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)



国立大学法人

東京医科歯科大学

令和元事業年度 決算報告書  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	14,524	14,934	409	(注1)
施設整備費補助金	320	291	△ 28	(注2)
補助金等収入	705	1,114	408	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	32	15	△ 16	
自己収入	39,237	41,630	2,393	
授業料、入学科及び検定料収入	1,635	1,619	△ 15	
附属病院収入	37,000	39,264	2,263	(注4)
財産処分収入	-	0	0	
雑収入	601	746	144	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,166	6,271	1,105	(注6)
引当金取崩	-	318	318	(注7)
長期借入金収入	284	147	△ 137	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	60,270	64,723	4,453	
支出				
業務費	52,198	52,176	△ 21	
教育研究経費	13,589	11,919	△ 1,669	(注8)
診療経費	38,609	40,257	1,648	(注9)
施設整備費	636	454	△ 182	(注10)
補助金等	705	1,114	408	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,166	5,714	548	(注12)
長期借入金償還金	2,074	2,066	△ 8	
計	60,780	61,526	746	
収入-支出	△ 510	3,196	3,707	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因経費の追加配分があったことや、予算においては翌事業年度に計画している予算額を含まないことから、予算額に比して決算額が409百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、施設整備費補助金の受入額が設計変更等により見込みを下回ったことから、予算額に比して決算額が28百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、補助金等の受入額が見込みを上回ったことから、予算額に比して決算額が408百万円多額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、高難度症例患者など関連病院からの集患に努めたとともに、高難度な手術及び高額薬剤適用患者の増加により診療単価が増加したことから、予算額に比して決算額が2,263百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、著作権及び特許権等収入や財産貸付料等の増収に努めたことから、予算額に比して決算額が144百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究及び寄附金等の獲得に努めたことから、予算額に比して決算額が1,105百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、退職手当及び賞与の支払いに伴い相当額について引当金を取り崩したことから、予算額に比して決算額が318百万円多額となっております。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたことや翌事業年度への繰り越しを行ったことから、予算額に比して決算額が1,669百万円少額となっております。
- (注9) 診療経費については、高額薬剤費の増加や水道光熱費の増加等により、予算額に比して決算額が1,648百万円多額となっております。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が182百万円少額となっております。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が408百万円多額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が548百万円多額となっております。